



1月26日(金)西市公民館研修室にて西市地区社会福祉協議会・西市公民館共催で、『スマホで簡単・便利な「しもまちのアプリ」使い方』をテーマに、下関市まちづくり政策課職員を講師にお迎えし福祉講座を開催しました。

講座では、参加者の方々がそれぞれ個人の携帯にしも

まちアプリをダウンロードすることから始まり、アプリの中で知ることのできる情報を一つ一つ丁寧に教わりました。

地域の方39名の参加があり、「今回の講座はとても分かりやすく参加して良かった。とても参考になった。」と話されていました。



第7回グラウンド・ゴルフ大会を開催しました



ホールインワン出るかな？

3月2日(土)豊田湖畔公園でグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。町内各自治会から21チーム(最年少7歳、最年長91歳)の参加があり、小雪の舞う厳しい寒さの中での開催となりましたが、沢山の好プレーに多くの拍手や歓声が聞かれ、寒さを忘れて楽しめる姿が印象的でした。



しし汁、おにぎりでほっと一息

プレーの後には、湖畔の会と公園職員の皆さんによるしし汁とおにぎりの心のこもったおもてなしもあり、笑顔いっぱいの大会になりました。

結果発表 おめでとうございます！



順位	団体の部	個人の部
優勝	殿居自治会	村上信子さん(西市二区)
準優勝	西市二区自治会	河地邦彦さん(秋葉)
第3位	檜原自治会	中村 貢さん(殿敷)



おめでとうございます！！

【事務局】 (令和6年3月発行)

住所：下関市豊田町大字矢田149番地1
(豊田生涯学習センター内)

TEL：083-766-0775 (Fax 兼用)

メール：toyota.machizukuri@clock.ocn.ne.jp

在室日：火・木曜日 (9:00~12:00)
13:00~17:00

みんなでまちづくり



新年互礼会を開催しました



前田市長

1月5日(金)豊田生涯学習センターで、前田晋太郎下関市長、香川昌則下関市議会議長を招いて、令和6年新年互礼会を71名の参加者で開催しました。

鼓郷温座堂の力強い太鼓演奏で始まり、開会のことば、田中達雄会長、前田晋太郎市長、香川昌則市議会議長あいさ



香川市議会議長

つと続き、アトラクション、歓談へと移りました。

アトラクションはさくら会による銭太鼓演奏、オープニングに引き続き鼓郷温座堂の太鼓演奏が披露されました。その後、ジャンケン大会、万歳三唱で閉会となりました。



さくら会による銭太鼓演奏



鼓郷温座堂による太鼓演奏



盛り上がったジャンケン大会



有害鳥獣被害の懇談会を開催しました

シカやイノシシ、サルなどの有害鳥獣被害の増加を受けて、2月27日(火)豊田生涯学習センターにおいて、豊田町内の全自治会長とまちづくり協議会の運営委員を対象に有害鳥獣被害についての懇談会を開催しました。

豊田猟友会会長の橋村健治さん(一ノ俣)に「狩猟の現状と対策」について話していただき、引き続き、懇談を行いました。橋村会長からは、「現在17名の豊田猟友会のメンバーの高齢化と人数の減少により、シカの増加に対応した駆除が難しく、現状では増える一方である。耕作放棄地がシカやイノシシの巣になっている。」ことなど、現状での対策の難しさを話されました。自治会長からは、被害にあって困っていることや資格を取るための助成、箱わなやくくりわなによる狩猟期間の緩和についてなど要望や質問がありました。



各地区の情報コーナー

★豊田中地区★ 「優秀賞」&「審査員奨励賞」受賞 林 龍子さん(上浮石)

令和元年から色鉛筆画を描かれている 林 龍子 さん(上浮石)が、公益財団法人国際文化カレッジ主催の「全国公募第6回日美展絵画部門色鉛筆画の部」で、「優秀賞」と「審査員奨励賞」をダブル受賞されました。おめでとうございます。



優秀賞「春到来」



審査員奨励賞「萩の乱」

色鉛筆で描かれている林さんの作品は、色合いがやわらかく温かさが感じられ、細部まで丁寧に仕上げられています。林さんに感想をお聞きすると、「優秀賞は勿論ですが、審査員奨励賞は目標にしていた賞で、今回受賞できて、とてもうれしいです。」と笑顔で話されました。受賞作品を豊田中公民館第1研修室に展示しています。

★殿居地区★ ようこそ、殿居へ ～住み心地はどうか～

一昨年から昨年にかけて、殿居地区に3家族が移住して来られました。それぞれの皆さんに、殿居の印象や生活についてお聞きしました。

◎高藤裕一さん、綾さん(上笠路子)



ヤギのまめちゃんと散歩

趣味の自転車のコースとして、また、インストラクターをしている体操教室の子どもたちとのキャンプなどで通っている内に、「いいねここ!!」という思いが強くなり、一昨年7月に市内清末から移住して来ました。周りの人たちはとてもやさしく、ここには昔からの日本人の感情があると感じています。ヤギ、ニワトリ、ウサギなどを飼っています。

◎加藤健太郎さん、陽子さん、見空さん(殿居)

北九州市門司区に住んでいましたが、昨年4月、子どもの小学校入学を機に移住して来ました。茶色の屋根で平屋、すぐそばには川が流れ、田畑もあって・・・、この情景は妻のイメージにぴったりで、子どももお気に入りです。米も野菜も自分で作りたいたいと思っており、ただ今勉強中です。



自宅での加藤さん一家

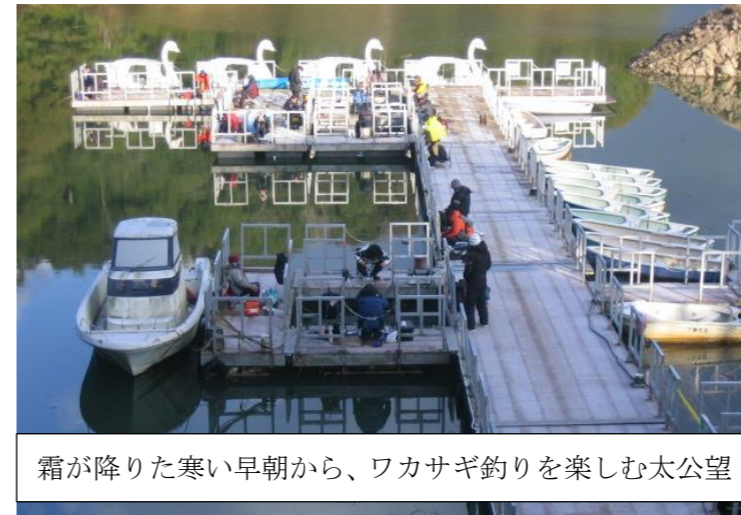
◎藤原良真さん(殿居)



ほだ木の棒積み作業

シイタケ栽培ができる場所を探していて、ここが気に入ったので、昨年8月に市内富任から移住して来ました。最初、とても不安でしたが、みんないい人でよくしてくれるので、毎日楽しく生活しています。時には、両親や友達も遊びに来ます。これから、シイタケ農家として、規模を広げていきたいと思っています。

★三豊地区★ 豊田湖ワカサギ釣り再開



霜が降りた寒い早朝から、ワカサギ釣りを楽しむ太公望



水位の回復で、浮かんできた釣り桟橋



バケツいっぱいワカサギ

昨年の少雨により一時期38.1%にまで低下していた豊田湖の貯水率が、今年の1月20日、21日にまとまった雨が降るなどして、53.8%(1月25日現在)にまで回復しました。それにより湖畔公園の釣り桟橋も水面上に再び浮かび上がり、使用可能に。1月27日(土)釣り桟橋の使用再開が決まり、待ちに待ったワカサギ釣りができるようになりました。

当日の朝、6時30分開園と同時に20名の方が来られ、今シーズン初めてのワカサギ釣りを楽しまれました。宇部市から来られた方は、「思っていたよりも良く釣れました。来て良かったです。」と嬉しそうに話されていました。次の日の日曜日はあいにくの雨模様でしたが、それでも前日より多い約60名の方が来られました。今年は、恒例のワカサギ釣り大会は中止となりましたが、豊田湖の冬の風物詩であるワカサギ釣りは、今季もまた多くの方に楽しんでいただいています。

★豊田下地区★ 明るくなった中村交差点



伐採作業

藪になっていた中村交差点沿いの花壇。道路管理者の下関土木建築事務所が雑木を伐採し、見通しがよくなり明るくなりました。

児童の通学路にある花壇は、長年手入れがされていなかったため見通しが悪く、過去には不審者を見かけたという情報もありました。



登校する児童

この度の伐採は、「安心して通れるよう木を切ってほしい。」という地元住民の声もあり、豊田下地区自治連合会が下関土木建築事務所に働きかけ実現したものです。

伐採後、「向こうがよく見えるよ。」「明るくなったねー。」「陰が無くなっている。」児童は安心して登下校出来ているようでした。

明るくなった中村交差点。「これからは豊田町を訪れる人のイメージが少しは良くなるのでは。」と、通りがかりの人が話していました。今後、高木の伐採も計画されているようです。